

# 平成23年度施政方針

## 夢と希望のもてる氷川町の創造



薫風さわやかな季節を迎え、皆様方には日々ご健勝にてご活躍のことお喜び申し上げます。

平成23年度がスタートいたしました。本町を取り巻く社会経済情勢は依然として厳しいものがありますので、時流を的確に捉え、堅実かつ将来を展望した行政運営を展開してまいりたいと考えています。

さて、平成23年度の国家予算は、「経済成長」「財政健全化」「社会保障改革」を一体的に実現し、元気な日本の復活に向けて、一般会計の総額が前年度に比べ0.1%増の92兆4,116億円と過去最高の予算が編成されました。

しかしながら、東日本大震災に伴う復興支援へ予算が傾注されると思われ、当初予算どおりに執行されるか懸念されるところであります。

一方、熊本県の本年度の当初予算は、前年度比0.8%増の総額7,213億で、「くまもとの夢」の実現に向けた事業への重点化や景気・雇用対策への積極的な予算編成となっておりますが、国の

交付金、補助金に依存する財政体質に変わりはなく、県財政の硬直化が進んでいる状況下にあつては、県からの補助金等も削減傾向にあると予想されま

す。

このような国、県の政策や財政状況を踏まえて、平成23年度氷川町一般会計予算につきましては、所要財源の確保に最大限の努力を傾注し、限られた財源の重点的・効率的配分に心がける

とともに、町勢発展の礎を築くこととし、対前年比7.6%増の総額54億4,181万4千円いたしました。

そこで、平成23年度は「新たな挑戦への再出発の年」と位置づけ、次の5つのまちづくり戦略を掲げ、議会のご理解を頂き、町民の皆様と協働しながら、活力のあるまちづくりに向けた町政の展開を行ってまいれる所存でございますので、一層のご協力をお願い申し上げます。

理栄養士を活用し、保健予防活動を充実強化してまいります。

児童生徒の安全な教育施設整備のための校舎等の耐震補強・改修工事を計画的に実施することし、竜北西部小学校屋内運動場改築工事を施工します。

### 人を育む教育の振興

児童生徒の安全な教育施設整備のための校舎等の耐震補強・改修工事を計画的に実施することし、竜北西部小学校屋内運動場改築工事を施工します。

夏場の酷暑対策として、小中学校の全教室にスタンド式扇風機4台を設置し、就学環境の改善を図りたいと考えています。

要支援児童生徒への教育支援を行う要支援児童生徒教育支援事業及び地域ぐるみで学校運営を支援する学校支援地域本部事業も充実を図り継続して取り組んでまいります。

八火図書館の整備については、多方面からの検討を深め、早い時期に方針を決定したいと考えております。

総合型地域スポーツクラブ「ひかわスポーツクラブ」が、4月からスタートしましたが、町体育協会との連携を図りながら、社会体育の振興に向けた支援を行ってまいります。

### 安全で快適な

### 生活環境のまちづくり

一昨年から導入した電気式生ごみ処理機購入助成は、継続して実施するこ

### 活力ある産業の振興

町の元気を取り戻すためには、何と言つても基幹産業である農業・商工業に活力がなくてはなりません。

農業振興策としては、T P P問題を視野に入れ、各種生産組織及び町内14の営農組織を中核とした組織型農業を積極的に推進してまいります。

新規の事業として、酪農家から果樹農家へ有機肥料の供給を支援する環境保全型農業総合支援事業に取り組みとともに、氷川町販売戦略基本計画に基づき、農産物販売戦略強化対策を実施します。

氷川町農業元気づくり支援事業は、柑橘優良品種転換支援事業及び吉野梨減農薬対策事業を新たなメニューとして含め、5つの事業を展開します。

また、継続事業として氷川町特産品ブランド開発・販路開拓事業、いぐさ豊表生産体制強化緊急対策事業をはじめ、農地の利活用調整、利活用状況調査等の農業委員会の機能充実を支援する農地制度実施円滑化事業に取

るとし、積極的に普及促進を図ります。防災・防犯対策といたしましては、消防団及び自主防災組織を核とした地域防災体制の充実と地域ぐるみで見守る防犯体制の確立を図ります。

特に、氷川町が誕生して6年目を迎えておりますが、氷川町総合防災訓練が実施されておりませんので、自主防災組織、町消防団をはじめ八代広域消防本部や国・県関係機関と合同による訓練を実施します。

八代広域消防本部管内の消防力の強化を図るため、分署建設を含めた検討委員会を八代広域行政事務組合に設置し、具現化に向けた検討を始めます。

下水道事業も計画に沿って促進し、集落内の道路及び排水路につきましては国の交付金の活用により優先順位を付けて整備を行うこととしています。

なお、広域アクセスのための幹線道路の整備及び町内の円滑なアクセスのための生活幹線道路ネットワークを確立し、町民生活における交通環境の改善や地域産業の振興及び救急医療対応や弱者支援に寄与するための氷川町道路整備基本計画策定に着手します。

宇城市との共同事業でありますスマートインターチェンジ事業につきましては、両市町の連携を密にして進めてまいります。本年度の事業としましては、町道吉本本山線道路改良事業として、建物事業損失調査、用地買収、立木等補償並びに町道吉本本山線・学校稲川線橋梁の下部工事をネクスト工日本へ委託し、実施する予定です。

り組むこととしています。さらに、農業経営の安定化と農家負担の軽減を目的とした農業収入安定化事業については、昨年度の晩霜被害等からその必要性を再認識し、共済掛け金の助成率を45%に据え置いたところでございます。

商工業振興策としましては、ネット通販販路拡大事業、地域資源活用特産品開発・販路拡大事業、のびのび子育て親育ち事業を継続して取り組むこととし、雇用の確保と消費拡大を図ってまいります。

町単独のプレミアム付き商品券の発行につきましても継続して実施し、町内における購買力の向上を目指してまいります。

中心市街地再整備につきましては、前年度策定した中心市街地再整備基本計画に基づき、議会及び町民の皆様方の意見を聴取し、事業化に向けた取り組みを計画的に進めてまいります。

新たな取り組みとしては、地域の素材を活かした特産品や食事喫茶の販売・情報発信により鹿島地区商工業の商店街活性化を図ることとします。

### 安心して暮らせる福祉のまちづくり

生活の安定は健康づくりという視点から疾病の早期発見、早期治療を促進し、町民の健康増進と医療費の抑制を

### 住民自治を支える行政運営の推進

住民主役のまちづくりを進めていく上では、町民の皆様との対話と協調が重要でありますので、本年度も町政懇談会を実施したいと考えております。

住民との協働によるまちづくりを進めるためには、情報を公開することも共有する必要がありますので、町ホームページへ町例規を掲載することにも、出来る限りの情報提供に努めてまいります。

堅実な行財政運営を行うためにも、行政改革プランに基づいた改革を確実に実践してまいりたいと思っております。

さらに、効率のよい機能的な行政組織とするため、役場機構の改革と職員的能力開発にも尽力してまいりたいと考えております。

以上、5つのまちづくり戦略を平成23年度の町政運営の基本方針として、夢と希望をもてる氷川町の創造をめざして、全身全霊を傾注して、危機感と緊張感を持って取り組んでまいれる所存でございますので、町民の皆様方のより一層のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

氷川町長 藤本 一臣